

NEWS RELEASE

会 社 名 株式会社ティムス
代表者名 代表取締役社長 若林 拓朗
(コード番号：4891 東証グロース市場)
問合せ先 取締役 伊藤 剛
(TEL. 042-307-7480)

TMS-007 (JX10) の開発に関するお知らせ

株式会社ティムス（以下「当社」）は、中国の臨床試験登録サイト「药物临床试验信息登记与信息公示平台」に、TMS-007 (JX10) の次相臨床試験「ORION」(Ph2/Ph3) のプロトコル情報等が開示されたことを確認しましたので、お知らせいたします。

登録サイト：药物临床试验信息登记与信息公示平台

(日本語訳：薬物臨床試験情報登記・情報公示プラットフォーム)

(URL) <http://www.chinadrugtrials.org.cn/index.html>

※「JX10」（半角大文字）で検索すると、検索結果が表示されます。

なお、当該登録による業績への影響は軽微です。今後、TMS-007 (JX10) に関して開示すべき事象が発生又は判明した場合には、速やかにお知らせいたします。

【TMS-007 (JX10) について】

TMS-007 (JX10) は、急性期脳梗塞(AIS)を適応症とする治療薬の候補であり、その作用機序は、血栓溶解作用と抗炎症作用を併せ持つものであります。急性期脳梗塞の治療戦略として重要なことは、発症後できるだけ早期に血流を回復させることにありますが、TMS-007 (JX10) は、現在の血栓溶解の標準治療法である発症後 4.5 時間以内の投与という治療期間を延長し、多くの患者さんへ治療機会を提供できる可能性があります。当社が日本で実施した前期第Ⅱ相臨床試験において、TMS-007 (JX10) を投与された被験者は、プラセボと比較して 90 日後の臨床転帰(全く症状がないか、症状があっても明らかな障害なく就業できる)が有意に改善しました。また、血管造影所見によっても、血流再開を改善する傾向が認められました。現在、CORXEL 社によって、急性期脳梗塞を適応症として TMS-007 (JX10) の有効性と安全性を評価するための国際共同試験（グローバル・スタディ）が開始されています。

【株式会社ティムスについて】

株式会社ティムスは、アンメット・メディカル・ニーズの克服を目指し、革新的な医薬品の発見と開発に注力し、研究段階から臨床段階までを手掛けるバイオ医薬品企業です。当社の研究開発品には、真菌由来の SMTPs (*Stachybotrys microspore* triprenyl phenols) と呼ばれる低分子化合物ファミリーが含まれます。リードパイプラインである TMS-007 (JX10) は、急性期脳梗塞治療薬として前期第Ⅱ相臨床試験において有効性と安全性を示しました。その他に、治療抵抗性又は制御不能な高血圧、急性腎障害、脊髄損傷といったアンメット・メディカル・ニーズの大きい疾患に対する治療薬パイプラインを有しています。株式会社ティムス は、アカデミア等における発見を世界の医薬品市場につなげる架け橋となることを目指し、日本の主要な学術機関との確立されたパートナーシップを活用し、新たなパイプラインの探索を続けています。詳細は当社ウェブサイト (<https://www.tms-japan.co.jp>) をご覧ください。

以上